

「人権」は、誰もが生まれながらにして持っている、人間としての幸せに生きていくための権利です。しかし、現在もなお、人権をめぐるさまざまな問題が存在しています。国際連合は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー (Human Rights Day)」と定め、加盟国に人権思想の啓発を要請しており、日本においては12月4日～10日の1週間を「人権週間」として、全国的に啓発活動呼びかけています。

子どもたちの豊かな心の育成をめざして

いずみさの教育



問合先  
学校教育課

を行い、入賞した作品を表彰・展示・発表しています。

各小・中学校における人権教育は、年齢や学年の発達段階に応じた学習活動を計画し、取組を進めています。それぞれの取組を通して育ってきた豊かな心をもとに創作された子どもたちの作品は、自分の人権のみならず、他者の人権についても大切にしている意識が見られ、審査員のみなさんの心をつ打つ素晴らしい作品が多くありました。

今後本市では、子どもたちの豊かな心の育成をめざし、人権教育を充実・推進していきます。

また、子どもたちの人権意識高揚のためには、家庭や地域が学校などと連携して人権啓発活動を積極的に進めていくなど、市民のみなさんの力添えが不可欠です。ご理解ご協力をお願いいたします。



学校園紹介



つながりを大切に  
～長坂小学校～

人とうまくつながるためにはコミュニケーション能力が重要です。本校では、ホワイトボード (WB) を活用し、互いの考えを伝え合う授業を展開しています。ペアやグループに分かれ、子どもたちはWBに意見を書きます。テーマをもとにたくさん意見を出し(発散)一番伝えたいことをまとめ(収束)これからどうしたいか(活用)を整理します。WBはすぐに書き直すことができるので話し合いもスムーズに進みます。最初は、総合や特活の時間に活用していましたが、今では、国語や算数、図工や道徳など、いろいろな教科学習でWBを活用し活発に意見交流ができるようになってきました。



個人の考えを引き出すために用いたり、班での話し合い活動に使ったりと使い方はいろいろですが、子どもたちは積極的にWBに自分の考えを書くことができています。頭で考えていることや心で思っていることを可視化・可聴化することは会話を豊かにすることになります。教科学習や学校生活だけではなく、大人になっても大切なことであるという将来につながる学びをしていることも気づいていけるようにと思います。これからはAIの進化により人間の能力を超える多種多様なロボットが開発されます。そんな時代に直面している子どもたちだからこそ、人と人とのつながり、ぬくもり、笑顔に触れ合える実体験を積ませていきたいと考えています。

生活や遊びの中での学びを大切に…  
～さくらこども園～



幼稚園と保育所が一体となり、0歳～5歳児(1～3号認定児)までの子どもたちが過ごす「さくらこども園」としてスタートしてから、早くも6年が経とうとしています。園庭にあるシンボルツリーの山桜も子どもたちと共に月日を重ね、成長を見守ってくれています。さくらこども園では、日々の生活や楽しい遊びの中で様々な経験を通して共に共感し、育ち合い、学び合う事を大事にしています。社会で必要なルールや人との関わりなど、集団生活の中から学ぶ事がたくさんあります。一人ひとりが自分らしさを発揮しながら充実した毎日を過ごせるよう、保育に取り組んでいます。

**【楽しい遊びからの学び】** 年齢が大きくなってくると友だちとの関わりも増え、ルールのある遊びも楽しめるようになってきます。その中で約束を守る事の大切さや社会性を養っていきます。

**【実体験からの学び】** 月に一回、火災や地震など、いざと言う時に備えて避難訓練を行っています。今年は夏のプールで、実際にライフジャケットを着用して浮かぶ経験もしました。「ちょっと怖かった」「プカプカ浮かんだ」など初めての経験に色々な感想がありましたが、実際に体験しておく事でいざと言う時に役立つよう、日頃から災害に備えての意識も高めていきたいと思っています。



また、隣接している第三小学校とも合同避難訓練を行い、自身の身の守り方なども身につけるようにしています。